

## 第 51 回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

ゼミ名	森本ゼミ	チーム名	チームゆったり
タイトル	出前館の今後の推移について		
テーマ群	e)産業・企業		
メンバー	吉田茜 前田瑚々菜 増永優季菜 近藤浄心 小泉優心 辻麻理奈 下瀬彩夏 横山大地		
研究計画内容	<p>「研究目的」</p> <p>現在、新型コロナウイルス拡大の影響でフードデリバリー産業が活性化している。チームの中でも、実際にフードデリバリーでアルバイトを行っているメンバーもあり、急激に仕事が増加したと言っていた。私達も、コロナ禍で外出が減り、フードデリバリーを利用することが増加した。その時に、疑問に思ったことがある。「全国の飲食店のうち、どれぐらいの数がフードデリバリーに加盟しているのか」と。そこで、私達はある特定のフードデリバリー会社に焦点を当て、全国の飲食店のうち、どれぐらいの数が加盟しているのか。もし、全国の飲食店全てが加盟したとしたら、売上はどのように動くのか。を研究することにした。</p> <p>「研究内容」</p> <p>コロナによりデリバリー業界の経済推移はどのような影響を受け、どのような変化を起こしたか、調査しデータ化する。具体的に述べると、E-stat というサイトを利用し、経済センサスによって様々なデータを活用し研究を進めた。まず、今の日本の飲食店全部に出前館が加盟した時の売り上げを出す為に、全国の飲食店の店舗数を 100%とし、現在加盟している店舗数を%で出す (<math>x:100=80000:590000</math>)。次に、全人口がアクティブユーザー数になった時の売り上げを出す。今の売り上げを今のユーザー数で割った時に一人当たりの売り上げが出る。この数字を各市町村や都道府県の人口の数に照らし合わせて、そのエリアの売り上げを出す。これらのデータを元に、簡単な計算で出た総売上を、より詳しい数字を出す。こうして出た数字を、私たちが考える出前館が全国展開した場合の売上とする。</p> <p>「期待される効果」</p> <p>本研究の期待として、全飲食店が加盟店として登録することで、経済的効果が期待される。また、加盟店が増えることによって、さまざまな種類から注文することができ、利用者の満足度・飲食店の知名度の向上などが期待される。</p>		